

日本精線 新中計の狙い

新員 元社長に聞く

—ステンレス鋼線やる。半導体製造装置に用金属繊維など、主力製 いられる超精密ガスファイ品の足元の状況は。

ルター（ナスクリーン）

「新型コロナの影響では20年から実需レベルに大幅に落ち込んだ昨年以上回復しており、コロナ禍期から、全体的に回復しても堅調に推移。第5世期から、製品別に見る 代移動通信（5G）の立ち上がりや、データセンと、ステンレス鋼線は下 ち上がりや、データセン 期月間販売数量3270 ター向けの半導体需要が 小。昨年同期から自動車 堅調であることに加え、 向け需要が急回復。巣ご 車載向け半導体不足もあり需要の増加により家 里、今後も半導体製造装 電関連向けも好調で、太 置の投資はハイレベルで 陽光パネル、電子部品向 行われるだろう。一方で けなども高水準の受注が ポリエステルフィルムや 続く。足元は堅調だった 炭素繊維向けのナスロン 2018年と同レベルま フィルターは、企業の設 で戻ってきている。しば 備投資の延期などにより らくこの勢いは継続しそ 国内外ともに低調だ」

—新中計『NSR23』 —新中計『NSR23』 「金属繊維は向け先に （21〜23年度）を公表 より明暗が分かれてい した。



「ESG経営の実践と 技術開発を積極的に行う ことで、ステンレス鋼線 トップ企業の地位を継続 し、最終年度の連結経常 利益42億円、連結ROS および同ROA10%以上、連結配当性向40%程 度などの経営目標達成を 目指す」

「ESG経営の実践と 技術開発を積極的に行う ことで、ステンレス鋼線 トップ企業の地位を継続 し、最終年度の連結経常 利益42億円、連結ROS および同ROA10%以上、 連結配当性向40%程 度などの経営目標達成を 目指す」

「注力する分野は、 「アフターコロナは、 デジタル化とカーボンニ ュートラルが一気に加速 する。太陽光ソーラー発 電効率向上には、スクリ ン印刷で用いられる極 細線の細径化が大きく寄 与するため、シングルミ クロンを目指し、さらな

サステナブル社会実現へ開発強化

ステンレス鋼線など新市場開拓

「スローガンは『日本 いる。当社の高機能・独 精線リニューアル（NS 自製品はサステナブル R）継続推進と高機能・ 社会の実現に貢献でき 独自製品でサステナビリ のので、生産の上方弾力 ティに貢献』。SDGs 性確保のための設備投資 の実現を世界各国が目 をさらに進め、新製品の 指しており、技術革新の 開発・新市場開拓に努め スピードは日々加速して

の進ちよくについて。 を計画。うち39億円はE S G 関連。国内2工場の 高機能・独自製品の機能 工場が稼働。自動運転制 御による表面被膜処理が 可能となり、生産能力は 用めっきラインの設置な どを行う。また、東大阪 工場は売上高35億7700 益2400万円で減収減 23年に向けてはもちろ 益。自動車向けの回復に 伴い、足元ではコロナ前 に貢献する新製品の開発 水準に達しているが、今 後、増値税の還付撤廃に 社の使命と考える」

「アフターコロナは、 デジタル化とカーボンニ ュートラルが一気に加速 する。太陽光ソーラー発 電効率向上には、スクリ ン印刷で用いられる極 細線の細径化が大きく寄 与するため、シングルミ クロンを目指し、さらな

「タイ精線の21年2月 期は売上高35億7700 益2400万円で減収減 23年に向けてはもちろ 益。自動車向けの回復に 伴い、足元ではコロナ前 に貢献する新製品の開発 水準に達しているが、今 後、増値税の還付撤廃に 社の使命と考える」

※本記事は鉄鋼新聞社の承諾を得て掲載しており、著作権は鉄鋼新聞社に帰属します。

